

ロシア（極東）

2000年は、1990年以降のロシア経済及び極東経済で最も成長率の高い年となった。鉱工業生産はロシア全体で9%、極東で6.8%の増加が記録された。これに対し2001年は、ロシア国内外の専門家が予測した通り、成長率が低下している。1 - 9月の鉱工業生産はロシア全体で前年同期比5.2%増であった。

極東地域の鉱工業生産は、沿海地方を除くすべての地方・州でプラス成長であるが、経済規模が大きい沿海地方の生産の落ち込みは地域全体の指数に大きな影響を与えており、全体の伸び率は僅か1%に留まっている。沿海地方では、電力産業だけがプラスで、他の主要産業はすべて低下している。減少が大きいのは、海産物缶詰（35.4%）、陶磁器（34.0%）、肉（33.1%）、ニット（30.0%）、魚などの水産物の水揚げ（27.4%）などである。一方、他の地方・州では生産が増加しており、その伸び率が高いのはサハリン州（14.2%）、アムール州（12.3%）およびチュコト自治管区（10.6%）である。これらの州およびマガダン州は2000年より高成長となった。

他の指標を見ると、極東地域はロシア全体と同じレベルにあるか、若干良い状況である。その差は僅かであるが、小売売上高や実質貨幣収入の伸び率はロシア平均を上回り、インフレ率は低い。また、8月の登録失業者数はロシア全体と異なり、約1%減少した。しかし、表からわかる通り、州ごとの指標の格差は激しい。例えば、1 - 9月の収入伸び率はロシア全体が10%であったが、ハバロフスク地方では2.3%、チュコト自治管区では54.8%である。

チュコト自治管区

2001年1 - 9月のデータを見ると、チュコト自治管区の見込みが立っている。この管区は面積の約半分が北極圏にある極寒の人口希薄地域であり、電力、貴金属および燃料以外の産業が殆どない。ソ連崩壊で中央政府の支援が激減し、経済危機の影響を受けて非常に深刻な状況に陥った。

船や飛行機による長距離輸送に依存するため、特に輸送運賃高騰の影響を受けた。最も離れている内陸部まで燃料や食糧を運ぶ費用は住民一人当たり年間6千ドルもかかる。燃料・食糧不足、賃金未払い、雇用悪化などのため、人口は1991年の半分となり、生産が急減し、経済的・社会的に最も困窮する地域の一つであった。そのチュコト自治管区が、最近大きな成長を見せ始めた理由は何だろう。

2000年12月の知事選でチュコト自治管区選出国家院議員ロマン・アブラモヴィチ氏が当選した。彼は、ロシアの大富豪の一人で、大手企業「シベリア石油」の株式の半分を保有し、世界2位のアルミニウム企業RusAlの設立にも参加した35歳の実業家である。成功した実業家が知事になる理由については、チュコトには金、錫、タングステンなど豊富な資源があるので知事の立場を利用してさらに金儲けをしたいのではないかと、知事として成功して大統領選を狙っているのではないかと、などの説がある。本人は「誰も信じてくれないが、ビジネスと違うことをやりたい。ビジネスには成功したから、この地域の生活をよくすることにも成功すると思う」と言っている。

本人の狙いは別として、彼の当選は自治管区の転換点となった。ロシアでは初めてのことであるが、下院議員時代から地域の社会分野などに個人資金（2000年に1800万ドル）を投入していた。また、2001年の管区予算の3分の1以上は知事の所得税（3500万ドル）であり、更に6000 - 8000万ドルを個人的に拠出する予定。パソコン、書籍、医療機器、燃料、食糧などの購入や映画館など文化施設、ラジオ・テレビ局経費に充当する予定である。

経済にも力を入れている。最重要課題は全体的な合理化、自給化である。経済規模からみると、現人口（7万人）は多すぎる（4 - 5万人が最適）として、チュコトから出たい人にロシア西部の住宅を購入し、さらに引越し費用まで負担して流出を促進している。燃料移入への依存をなくするために地元の油田開発も計画している。また、近接するアラスカやカナダから低関税で燃料・食料品を輸入できるように、チュコトを自由経済特区にすることも提案している。（ERINA調査研究部研究助手 ドミトリー・セルガチョフ）

	鉱工業生産 【2001年1-9月】 （対前年同期比、%）	小売売上高 【2001年1-9月】 （対前年同期比、%）	消費者物価 【2001年9月】 （前年12月比、%）	実質貨幣収入 【2001年8月】 （前年同月比、%）	登録失業者 【2001年8月】 （対7月比、%）	参考：地域総鉱工業生産 【2001年9月】 （対全国比、%）
サハ共和国	1.9	1.9	9.5	5.3	6.3	1.35
沿海地方	17.7	16.4	14.8	13.2	2.6	0.74
ハバロフスク地方	5.9	7.3	17.5	2.3	0.9	1.10
アムール州	12.3	1.3	11.2	5.2	2.9	0.20
カムチャッカ州	1.5	8.0	11.8	26.1	5.1	0.35
マガダン州	3.7	6.4	13.3	20.8	3.6	0.18
サハリン州	14.2	25.1	18.4	20.7	8.1	0.53
ユダヤ自治州	4.8	23.0	14.6	19.8	0.0	0.02
チュコト自治管区	10.6	48.4	3.7	54.8	7.7	0.05
極東	1.0	10.3	13.8	10.6	0.9	4.5
ロシア連邦	5.2	10.1	13.9	10.3	0.9	100.00

出所：ロシア国家統計委員会、「ロシアの社会経済状況」月報9号